

大会派遣・研修報告書	
1. 大会・研修会名	Softbank ウインターカップ2019 令和元年度 第72回全国高等学校バスケットボール選手権大会
2. 研修期間	2019年12月22日(日)～24日(火)
3. 派遣者	寺田 祥(佐世保)
4. 日程	22日(日) 移動 佐世保～東京 23日(月) 女子1回戦 盛岡白百合学園 対 桐生市立商業 24日(火) 男子1回戦 光泉 対 広島県瀬戸内 24日(火) 移動 東京～佐世保
5. 研修概要	担当ゲーム：上記2ゲーム
6. 研修内容	<p>女子1回戦 盛岡白百合学園 対 桐生市立商業</p> <p>CC 寺田 祥(長崎) U1 土門 亮太氏(山形) U2 松永 航平氏(東京) インストラクター 田久保 藍子氏</p> <p>【ポストゲームカンファレンス/クルーミーティング内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パス&クラッシュは、一番のインパクトだった。ノーコールではなく誰かが遅れても判定した方が良かった。 ・UFコールはクライテリアに照らし合わせて、問題なし。 ・TOの管理は良かった。 <p>男子1回戦 光泉 対 広島県瀬戸内</p> <p>CC 寺田 祥(長崎) U1 堀田 幸一氏(北海道) U2 松本 祐大氏(栃木) インストラクター 倉口 勉氏</p> <p>【ポストゲームカンファレンス/クルーミーティング内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EOGスムーズに進めることができた。クルーワークも良かった。 ・留学生へのコミュニケーションもよく、クルーでしっかりリードしていた。 <p>今回の2ゲームでは、CCとしてどのように初めて組むクルーと運営していくかを考えた。まずはプライマリの確認と、アイコンタクトでコミュニケーションをとる。デッド時の情報共有をしようとカンファレンスで行った。2試合ともクルーとしてスムーズに運営することができた。</p>
7. 所感	<p>WCへの派遣は学ぶことや刺激をもらう大会であった。県内大会と共通して実践できることを検証し、CCメンタリティーの重要性を実感した。今後も審判としての力量を高めて、県内をリードしていきたいと思います。</p> <p>今回、派遣いただいた宮本会長、太田専務理事をはじめ(一社)長崎県バスケットボール協会の皆様とお世話になりました関東ブロックの皆様にも御礼申し上げます。</p>